

水源禪師法話集 89

(2018 年 5 月 3 日 山梨合宿 7 日目)

2019 年 3 月 9 日

一乗禪の会



ボルボドーの寺院・インドネシア にて

目次

水源禪師法話

参加者による尺八の演奏と明暗尺八の紹介.....	3
お釈迦様は言われた 12 因縁とダンマの関係.....	5
巨石文明の関り.....	5
お釈迦様が死ぬ時言われた三つの望み.....	6
お釈迦様の死の遺言.....	7
北伝では因縁が 27 の項目に分かれている.....	8
因果関係を観る事でカルマの本質が出てくる.....	9
弘法大師様のお導きによって回った旅.....	11
お釈迦様の過去世と過去仏.....	13

質疑応答

宇宙の構造.....	15
本当の幸せ、涅槃に導いてくれるお釈迦様の教え.....	17
電磁波はどういう風に使われるか.....	18
A I はプログラミングだけで人間の力にはかなわない.....	19
本当の幸せを見付けるには本当の事を知る必要がある.....	20
ナーマ・ルーパを明快に分析して行けば心の作用が分かる.....	21
実際に行く、そしてその体験を通して本当の事が分かる.....	23

水源禪師法話

参加者による尺八の演奏と明暗尺八の紹介

【参加者】

え～大変皆様にとりまして貴重なお時間をですね、少し頂戴致しまして私がやっております禅の尺八、明暗尺八の紹介させて頂く時間を頂戴致しました事、本当にありがとうございます。

普段は仏様の前や神様の真ん前で吹いているわけですが、今日は皆様生き仏様でございますので、皆様の方を向いて吹かせて頂こうと思います。

短い曲 2, 3 曲を演奏したいと思います。

最初に一二三鉢返の一二三調鉢返の曲という事で。去年も大阪で吹かせて頂いたのではないかと思います、最初の低い音の 1 分間位、これは一二三調と言いますが、調心、調息、息を整える、心を整える曲と言う事でございます。

また一二三と言うくらいで、物事の始めというような意味がございます。この合宿を体験させて頂いて、また明日からですね、新しい生き方を一步一步始めてまいりたいという気持ちでございます。

それから、ちょっと高い音になって、2 分くらいですけれどもこれが鉢返の曲、鉢と言うのはお坊さんが托鉢に出て喜捨を頂くというような意味で、そのお返しと言う意味で、私ども虚無僧はここに偈箱と言う箱を明暗と書いてありますが、そこに喜捨を頂いてそのお礼に吹くと言う曲であります。水源先生に色々教えて頂いたお礼と、皆様へのお礼と言う気持ちで。

— 演奏 —

尺八は「人世ばかりと思ひしにいくよか老いの楽しみとなる」と唄いましたのは、あの頓智で、有名な一休さんでいらっしゃる。

聖人して修行を重ねられて京都の大徳寺の最後には館長になられたという方ですが、実は尺八をたしなんでおられたという事なのですね。それであの一休さんが尺八を吹いていると思うとなんかワクワクするのですけれども、その一休禪師が作られたと言う「紫の曲」と言う曲がございます。

紫のと言うのは、実は、大徳寺のある場所の地名でございます。それで一休禪師が悟りの境地をその曲に託したという様なそうしたあれでは、ございませんで、大げさな曲ではございませんで、非常に楽しい曲なのですが、私共の普化宗の尺八明暗尺八は、明暗（みょうあん）と明暗（めいあん）と書いてあり

ますが、一休禅師は明も暗も無いのじゃと一緒じゃと言う様な事で、晩年は非常に奔放に生きられたと聞いております。その一休禅師が作られた紫の曲。室町時代ですのでゆったりとしております。

— 演奏 —

最後の曲になりますが、時代がもう少し進みまして江戸時代になります。虚無僧が全盛の時でございます、虚無僧の尺八は実は 700 年前に伝わって来たこの尺八 そのものなわけですが、これは徳川家康が、まだ天下を取る前にです、ね虚無僧に命を助けられたという事があったらしいです。という事で幕府を開いた時虚無僧は非常に丁重に扱ひまして、全国各藩に虚無僧寺があつて 140ヶ所を数えた話です。

それで虚無僧には特別な治外法権的なものを寺に許可しまして、手形は、この手形を出せば諸国どこにでも行けたと、いう様な事で盛んになりました。それで明治政府の反感をかひまして、明治4年に普化宗はおとり潰しになりました。尺八も吹けなかったわけです。

その20年後に一般の人も誰でも吹ける形で尺八が蘇った、それで今に至っているという様な事でございます。その奈良地方、奈良の虚無僧がよく吹いて流していたと言う「大和調子」と言う曲で。

— 演奏 —

【水源師】

はい、ありがとうございました。

【司会者】

ありがとうございました。最後にちょっと合宿のご感想の方を。

【参加者】

はい、明日の朝までいるのでここで言っちゃうと何か。

【司会者】

じゃあ明日の朝という事にしましょうか？

【参加者】

居づらいですからね、この後（笑）。

お釈迦様は言われた 12 因縁とダンマの関係

今まで私たちは、生まれ生まれ又、サムサラ輪廻ですね。12 因縁を繰り返し、繰り返し、こうして、生まれてはまた生まれ、生まれてはまた生まれと。

お釈迦様がね、こう言われていますね。大乘仏教では12 因縁ですね、日本語では十二縁、十二縁起、十二縁門、十二縁生、十二懸連。

南伝では一般的には比丘たちはパティサンディ（再生識）、正式な名前 dvadasan`gika-pra-titya-samutpāda というこの発音はあんまり使わないのだけれども、私たちはパティサンディと只言う12 因縁。

それでお釈迦様が三か月前に死ぬ前に、一生懸命瞑想して、そして二月の満月ニッバーナに入って行ったと。これは北伝の方の話か、スリランカの比丘の方は、四月の満月に生まれ悟って死んで行ったと。

まあこういう論争は別にして。お釈迦様はこう言っています。「もし修行する方が、12 因縁をしっかりと観た場合は、ダンマを観たと、観ることが事が出来た」と「又ダンマを持ったと言う方は、12 因縁をしっかりと観た」と、そう言われています。

巨石文明の関り

ですから、今まで私が、何故これ程までに、太古の地球の事から、月とか惑星とか星の事を言うのか？

最初に始まるのは無明から始まったでしょ、無明と。私たちは何も知らない無明だからそう言う事すら私たちは知らされて無いと。

結局巨石文明を調べれば、もう三角関係から月と地球の関係、それからレオナルドダヴィンチの男の人の四角と丸、あれは男性女性のセックスカラパの印象ですね。インプレッション (Impression)、印象を表したものであって、そして丸と四角が一体化の面積を持つと。

これは現在数学的には二千年経っても誰も解決できないけれども、月と地球の関係でピッタリとそれを表す事が出来るわけです。それが巨石文明のストーンヘンジ (Stonehenge) にちゃんと正式に表れて、巨石文明の月の上がり下がり、十九年間に二時間しか狂わないけれども、私達は現在のこのカレンダーは、四年に一回一日狂うでしょう？

巨石文明の場合は、366 日の手法を使って、そのまま直行出来る手法を使いました。何故かと言うと、その時の一秒と私達が使う一秒が違うから自動的に合ってしまうわけですね。

その一秒というのは、地球が24 時間で回るでしょう？分割して。それを又

60 に分割して、又それを 60 に分割して、一時間が 3600 秒でしょう？それをちゃんと分かっているわけです。

その時の一秒と太古の昔の一秒は違う単位を使っているから、計算しなくても 366 で合って行くわけなのですね。

という風な事を、ピタゴラス派が、ギリシャのピタゴラス派ね、五角形で表す、三角関数の秘密を絶対に漏らさないようにと。

ところが、レオナルドダヴィンチの絵で皆さんに見せたように、その顔と四角の間を取れば三角関数が綺麗に見えるし、それから月と地球の対比は、月を 3 とすれば地球の直径が 11 で、そして 11 から 3 を引けば 8 でしょ、それを月を真ん中に持って来れば、3, 4, 5 になるわけです。

という事を全て隠し持っているわけですね。これは太古のスメリアカルチャーも勿論知っていますし。私たちは殆ど何も知らされずに一生懸命勉強させられているけれども、本当に何を勉強させられているかという事が、非常に疑問があるわけです。実際に身に付く勉強をさせられていないわけです。

だから、お釈迦様が、過去それから未来を観る人がダンマを持ったと。ダンマを持ったという人は過去と未来を観る人と。それを観なければ法を持った人では無いと。

結局、「空」を持った「空」を知ったという人は、当然 1 2 因縁を完全に理解して説明しなければいけないわけです。

昨日は最初に無明と死の間説明したでしょ？この般若心経。それを誰も未だに説明していない明確に。そればアビダンマで 1 2 因縁の非常に大事な項目です。最初の「観自在菩薩 行深」の行深、サンカーラを深く研鑽すると。研鑽する事によって結局、1 2 因縁を明快に観ると。

お釈迦様が死ぬ時言われた三つの望み

それで、お釈迦様がこれから死のうという時に、「三つの望みがあります」と、そう言われたわけです。

その三つの望みというのは何かと言えば、こういうわけです。

「しっかりとパティサンディをしっかりと心から研鑽してしっかりと覚えて下さい」と。次には「それを実際に体感して研鑽して下さい」と。最後には「それをしっかりと応用して、実際に役立てて下さい」という事が、お釈迦様の望みなわけですね。

だから私が今までこういう風に、しつこく何回も何回も訳の分からない大宇宙の事から月と地球の関係を言ったのは、明快に、私たちは本当に無明で生きているという事を説明したかったわけです。

まあ、Cさんは、特別な手法で過去と未来をもはや観ています。それを今度ダンマヌパッサナーで正式にするには、非常に長い時間がかかるので、その道場が必要なわけですね。

だから、それで私が、カナダには3ヶ月の道場、そういう方が出た場合。それから南米に行けば、何年でも暮らせるような環境の大地があるわけですね。

そこには世界60か国の人が来て、精神界を求めてくるわけです、ヨーロッパから全世界から。もはやそこには私のサンガが出来て私が居なくても、海潮禅教えたでしょ。あそこは川の波紋を見せて、それでやはりすぐに現象が起こるわけです。

それで今でも週一回ズーッと続けているらしいです。という風に長期戦でやるには、そういう環境が必要だし、まさかミャンマーに行つてね、40度の高熱の中で、それから湿度90%、こんな紙なんて無いのです。そこでは、皆全部プラスチックの中に入れなければ、ぐちゃぐちゃになって読めるものじゃないのです。

そういう苛烈な環境では、こういう風な天国のような所に来ている方はまず無理でしょうね。長年の長期戦でやるというのは。

だから殆どの北伝のお坊さんはそこでは、強制剤とか何か飲んで、薬を飲んで一生懸命やっているけれどもね。特に高麗人参は非常にあそこでは好評で。一生懸命それを食べながらやって、やはり妙薬で。私は何も飲まなくてやっていただけけれども。というのは普段から淡々と、ただ座って、座って、座っていたからと思います。

お釈迦様の死の遺言

お釈迦様は「そうして下さい」と言たわけですね。「ただ座って行って、最後にはどうしても12因縁を深く研鑽して下さい」と。「これこそがダンマである」と。そう言われたわけです。

だから法華経を読むにも12因縁をしっかりと分かなければ読めないと何回も何回も私が言ったのは、お釈迦様がそういう風に死の遺言として言われているわけなのですね。じゃあどういいう風に言れてるかと言えば、

まず、第一に「私のダンマ（さっき言ったパティサンディ12因縁ですね）をしっかりと心から学んで下さい。それだけでは十分ではありません」と。

第二の望みは「これをしっかりと修行し、そして何回も何回もそれを繰り返し（ヴィパッサナーですね）それでダンマを獲得して下さい」と。

最後の望みは「この本当の教えをしっかりと保ち、それを増々研鑽して行く様にして下さい」と。

それはまずシラクサラダンマ、コーモラリティダンマという事の上に立つ 12 因縁の事ですね。それからスマディクサラダンマつまりズーッと concentration コンセントレーションをしてそれを観て行くと。最後にはパンニャクサラダンマそれによって、ズーッとそれを研鑽することによって、今度はマガという聖者の知識を得て下さいということなのですね。

北伝では因縁が 27 の項目に分かれている

北伝の方は、ちょっと詳しく、どういう風に研鑽するかという事をちょっと述べられているのですね。27 の項目に分けているわけです。

その時に勿論サンカーラとかズーッと入って行きますけれども。一体心とはどういう風に出来ているかというその項目は、12 因縁は集約されているから、それは研鑽する時通過してしまうのだけれども。

観る過程において、何故かと言えば、生まれる時にね、身体が死んで、また生まれる時に入る所の心がどういう風に出来ているか当然観えるわけなのだけれども。

それをしっかりと観るか観ないかによって研鑽出来ないわけですね。そしてその時の時空ですね、どういう風に次の自分の生命体が発生するか、そこを観る事、時空の事ですね、space - time。

これは誰も観なさいとは言わないけれども、ナーガールジュナ様の手法ではこれをしっかりと観るように、27 項目で分けて言っています。

ところが、それを分けなくても、しっかりと観れば自動的にそれを観る事になります。私の場合は、どうしてそういう因果が発生して、そして、どういう風にして次の生命体に入るか、そこをジーッと何回も何回も観ていたので、この事がよく分かりました。

それで南伝では、私の言うパティサンディ 12 因縁ですね。という事と北伝では実は同じです。やる事、内容は全然変わってないです。

ところが、この大乘の方では、これをやるにはやはり禅定が必要ですからね禅定が。

そして第八禅定まで要求される事があります。第四禅定だけでは、過去とか未来を観る時に、通過出来ない事があります。

大八禅定でやれば、そこをスーッとブチ破って、もっと深く観る事ができるから、結局それでカシナ瞑想法は最終的には、四十の第四定禅と九の第八定禅を教えます。

それをズーッとやって行くのは、12 因縁をしっかりと観るための訓練ですね。その力を持たすという風に規則的に出来ているわけですよ。

それで、「過去を観た。こう観た」それはそれでその通りだと思うけれども、それではダンマにならないわけです。解析出来ないから。

それでこの長い間、色々難しい数学的なナンバーとか色んな事を言ったのは、中学生でも分かる簡単な数学で分かる事を、私たちは何千年も教えられていないけれども、過去の巨石文明の人は、現代以上に非常に細かく地球とかそれから時間の事が分かっていた。

私たちは全然使わなくても生まれて死んで生まれて死んで、まあそれで良いのだけれども、ただ対比としてね、結局そういう事だと。

因果関係を観る事でカルマの本質が出てくる

それで、昨日もちょっと日本の秘密を教えましたがけれども、全部じゃないけれども、全部教えたら大変な事になるから。

という風に何も私たちは教えられていないと。無明であるという事を私が言っているわけです。

だから、どうしてもこの生まれ出ないという事からは無理があると。無明であるから必ず又生まれてサムサラ、サムサラと。それでその時に因果関係が発生します。その因果関係をしっかり観るには、どうしても自分の生まれ出る、生まれ出る、それをずーっと見た時に、ナーマ・ルーパとかルーパ、ナーマの関係をしっかり、五蘊の関係ですね、五蘊の関係をしっかり繋いで、過去の物質と現代の物質と未来の物質それをしっかり観た時に、カルマの本質が出てきます。

それを西洋では、クリエーターCreator とかいう風に神というふうな存在で言うから、それでじゃあ、なぜ戦争が起こって神がストップ出来ないのかと。

そういう人間の考えている神は存在しないわけです。という風にお釈迦様が言って、神がいるとすればカルマの法則それ自体ですね。誰も止められない。

ただカルマ自体は、替える事が出来る。その替える手段としては、結局涅槃の道を進めば、そういう風な永遠と苦の中で生きる事も無いし。その次の手法として、お釈迦様が「ただ座りなさい」と。

座る事によって良い結果が出てくるからと。そして、この方は浅原才市さんという方で、前にも紹介したはずですけども、1850 年生まれ、そして他界したのが 1932 年。「心は出入りの心に任せて世を過ごす事」つまりアナパナですね。

止禅、止観禅、アナパナ。そして「出入りの息こそ南無阿弥陀仏、現世を、現世を、まあ私の場合ですね、その時に座禅をして念仏の不可思議を体得する事が出来ることにより、念仏行の慈悲の世界は、阿弥陀仏に入る」。だから昨日、

説明したでしょう。

親鸞上人も法然上人も絶対に座禅したはずだと。ただ唱えるだけではおかしいと。出来ないはずとやはり書いてある。こういう風に。実際に実行してそういう世界です。

それで皆さんも2日3日前、海潮禅やられて、そして巨大な観音様がこの絵の通りに表れてきてね、そして、ここから本当は金色ではなく朱色で、陽の色ですね、スーと巨大な阿弥陀様が降りてきて、そして池の蓮の上にスーと座られて、確か千手千眼印だと思います、千手千眼印。

千手千眼印というのは観音様の印。千手千眼印という印これですね。これで座っていて、ちょうど座り方はサマタブツダのように座っていました。

というように、私たちがあれこれ考える事よりも素直にお釈迦様の言葉に従って行けば間違いないです。それを、あれだ、これだと考えながらやる事によって大変な迷いがあってね、

その昔、私の奥さんがね、非常に私を怒鳴り付けてね、「私は人形じゃありません」と「私にも意思があります。人間です。人間として生きたい」と。「いや、あなたはね人形として私の言う事を聞いて生きなさい」と。

何故かブツブツ言いながらそのようにやって、まあ何の喧嘩も殆どなく52年一緒にこうして一生懸命。まあ結婚したらね、若い人はもうバラ色で何でもかんでも宮殿に住んでそういう事を思うのでしょうね。

それで私が、これしてこれしてと。そうしたら、もう腹を立てて「私は女中じゃない。私は人形じゃない」とこう、嫌々。

今は、せっせ、せっせとそれがとっても楽しくなってね、それをするのがもう日課で、そして料理を作って洗濯して家も綺麗にして行くわけですよ。

それが何でこんなに綺麗にするのかな？私の部屋まで来て、こうベッド作ってみたりしたね。私の部屋は、もう子供みたいにあっち、こっち散らかして入るのですよ。

ところが、私が山で一人で暮らしたらね、洗濯は自分でしなくてはいけないのですよ。まあ疲れ切ってやる事も出来ないからほったらかして、洗濯機にボーンと投げて、ああ洗濯機って良いものだね〜と。

料理する時間も面倒臭くてバナナ食べて、腹減ってね、バナナバナナで、バナナを食べるそのバナナも食い切って何も無いから、何故かといえば干しバナナっていうのは美味しいのですよ。ちょっとベイク bake してね、そして干すでしょ、あれはもう蜂蜜以上に美味しい天然のものだから。

腹減っているからね、2, 3本5, 6本ばらばらと食べちゃうわけ。あーっという間になくなって、それでもう、いやあ、もう作る元気も無いし、一日中働いて、働いて、働いて、止まらないわけです。それがまあ禅みたいなものですよ

ね、楽しいから。

今度、瞑想する時間だ、もう食べるものも何も無い、じゃあ、仕方ないと。水一杯でそれでお終いで、水一杯が食事なのですね。ま、それはそれで良いわけですよ。

それで、こう座ってなんと食べられるはずのない青い硬いバナナあるでしょう。バナナの皮を剥こうと思って、青かったら剥けないのですよ。もう木みたいになって、なんと一つだけ黄色になっているわけ、良かったと思って美味しく食べて。そういう風に不可思議な事もあります。

まあ、話はそれでしたが、結局私が、何回も何回も言っている事が、やはりこういう風な、経典にも書かれているし、そして私が何もこうして経典を読んで行ったわけではないですよ。

ただ私が心から皆さんにお伝えしなければいけないと思ってやっている事が、その通り経典に書かれているわけです。だからダンマを持つという事は、結局経典を読む、読まないに限らず、自然にそういう事をしてしまうのですよ。

それで、こういう事を言えば失礼になるけれども、その昔、日本の方でタイに行って高名な方で40年いてその方にこう聞いたわけ「一体ダンマという事はどういう事ですか？」と「うーんそうだね、何だろうね」と言うわけ。という事は南伝でその方は、全然勉強していなかったわけですね。

経典はべらべらべらべら言うのだけれども、タイ語でね。まあ非常に有名な日本人のお坊さんで、今は還俗したと聞いたけれども。まあそういう事なのですよ。

お釈迦様は「形はやめなさい」と「私が死んだ後、必死になってダンマを求めなさい」と、「比丘になればそれ以外生きる道は無い」と。こういう風に遺言として残しているわけです。そして「じゃあ、お釈迦様、何を先生にして生きて行けばいいのですか？」と、「一隅を光らせてそれを先生としなさい」というのは、ニミッタを出しなさいと、ニミッタを出せばダンマヌパッサナーが出来るから、ダンマヌパッサナーを最終的にやってそのフルーツを皆さんに与えなさいと、しっかりと研鑽して、そういう事なのですね。

弘法大師様のお導きによって廻った旅

それで結局弘法大師様が、この当地には三百巻のうち三巻しか伝わっていないと。

確かにそうで、やはり、二千六百年奇跡的にパオにその手法が残って、そして奇跡的には私が行ってそれを受け取る事が出来たわけですね。それも奇跡的に受け取る土台は、韓国の曹溪宗のお釈迦様直系の教えなのですねそこは。

というのは、達磨大使が二十八世法主なのです。それですべてのインドの宗派を打ち破って、そして、その後、インドをズーッと南下してパンニャタラ様の教えに従って127歳だったかな？67年待っていたのかな？行く時期を、というのは山賊もいればもう世界は荒れて戦争があるし、じーっと待っていたわけですね。

それでチェーナイの第三皇子で修行して、それでスリランカに渡って、スリランカから確かジャカルタに行ったはずですが、ジャカルタ。ジャカルタから六か月か何年か待って、そこから今度は、最後の地はサイゴンに行って、サイゴンから今度は広東の武帝にとことろに行って。

武帝が「私は今まで30万人の比丘、比丘尼を布施してお寺も沢山建てた」と「どういう功德があるだろう？」と達磨大使様に聞けば「それはね、ざるに水をかけるようなものです」と言えば、もう怒られて。

6回も毒殺されながら、まあ法を慧可様に伝えてそして長安、今のいう西安を通過してその時に楞伽經が大切ですよという事で去年は楞伽經を説明したわけ。そしてパミール高原を通過して帰って行ったと。

つい最近発見した事は、アフガニスタンのカブール、メス・アナックでしたね。

アナックという名前そのものは、スメリア語で神という意味でもあるわけです。アヌアキの別名で天から降りてきた宇宙人という事ですね現在では。

その人の作った町だという事です。そこを通過して玄奘大師も達磨大使も通ってインドに帰って行った。という事で、これはぜひ行ってみなければという事になったわけですね。

それで私の旅もズーと弘法大師様のお導きによって何の事も無く、そういう全ての大事なところを回って、回って中国の北まで行って、今度は、アフガニスタンと中国は国境一緒なのですね、細い回路を通過して、シルクロードになって、それは六千年の長きにわたって中国からヨーロッパいつでも通じていたみたいです。

そのメス・アナックは、太古からそこは銅の生産されるところで、ヨーロッパでは銅が出ないので非常に高価なものだったわけです。だからそれをシルクロードで、ズーッとギリシャからローマヨーロッパに持って行ったわけです。

青銅の刀あるでしょう、青銅の刀を作って戦争に勝つから。青銅というのは金剛という意味です。現代それを間違って金剛というのは、ダイヤモンド、ダイヤモンドと。それが行き違えているけれども、金剛というその事は青銅の事です。だから金剛般若波羅蜜多經はつまり、その当時は鉄器ではなく銅器が主だったから、結局、青銅のように最も強力な教えという事で「金剛般若波羅蜜多經」とか「金剛藏」とかそういう所から来ていますね。

お釈迦様の過去世と過去仏

過去世を観る事が何故そんなに重要かといえばやはり、お釈迦様がね、この世に出る前に過去沢山の仏の下で修行をされたわけですよ。タンハンカラ Taṇhāṅkara Buddha が南伝では一番最初、で二番目がメーダンカラ Medhāṅkara Buddha、サラナンカラ Saraṇāṅkara Buddha、四番目がディーパンカラ Dīpaṅkara Buddha で、その時お釈迦様はスメーダという在家の方でスマチとも又言われ、又はメガマバナという、とっても金持ちのブラミンだったと。

その時にお釈迦様がこう通ってくる時にね、お釈迦様の足が水の上に触れたら、泥の上に触れたらいけないと思って、自分の髪あるでしょ、自分の髪をすーっと通して、その上をディーパンカラブッダが歩いたわけですね。その時に「お前は今の世の時に釈迦牟尼ブッダとなってサンマーサンブッダさんになる」と。そういうお告げを受けたわけですね。

それからその後の、コンダンニャ Koṇḍañña Buddha というブッダですね N05。はヴィジターヴィンという名前だったわけですね。そしてその後の第六番目のマンガラブッダ Maṅgala Buddha の時にはスルチという名前だったわけです。こういう風にこう過去より分かっているわけ。

一つのブッダから一つのブッダに出る時にはどれくらいの時空が離れているか分かりません。特に一番早いブッダで三阿僧劫のカルパを通過してそしてブッダになると言われるくらいだから。だから、それを長々と述べたら皆さんもう頭が痛くなるから、そういう風な時空を経てお釈迦様がこういう風な強烈なダンマを持って来て教えてくれたわけで。

だから、最も大切なダンマヌパッサナーのこの手法は確かに難しい、難しいけれども、それくらい強烈な時空を経て持ってきた宇宙の究極の宝なわけですね。

だからそれはとても難しいから、結局、阿弥陀様という教えが出てきて。禅即浄土という風に、この前発生したように、やはり、とても浄土真宗では有名な浅原才市という方がやはり座禅するわけですね。そういう風に座禅、座禅で。

今は何もしなくても拝むだけで行くと。まあそれだったら結構だけれどもね。それだったら最高で、もう何もしなくても次の世は万々歳だけれども、

でもね、最初ここに座った時に無量の幽霊が一杯出て来ました。瞑想していると数知れず。又、沢山の神々も御出でに成られましたけれども。だから、皆さんが言われるように、阿弥陀、阿弥陀で全て浄土へ行っていないという事ですね。もう見渡す限りの幽霊たち。だからもうしんどかったですよ、その時、私は疲れて、もう何とかして、何故かと言えば、幽霊は食事が出来ないのですよ、一年に一回たらふく食べるかどうかで、いつも餓鬼状態なのです。

私達がこう座るでしょ、これが又素晴らしい食事なのです。又水をまくとかお線香とか、そういう事で食事に成るくらいで、いつもお腹を減らしているわけです。

何故座れば食事になるかと言え、私長時間座るでしょ、物が食べられなくなるのです。というのは、この心臓から出るエネルギーと食べるエネルギーは一緒なのです。食べなくてもいいわけです。あ、それで達磨大使は洞穴でズーっと座れたのだなという事で。まあそういう事で今日皆さんお疲れですか？早く寝たいですか？



四世紀・正統派キリストの修行道場・カパドキア・トルコ

質疑応答

【参加者】

さっきのスメリアに少し関係あるかもしれないですけども、最近の科学で、現実世界のシュミレーションがあるみたいな。量子力学とかで結構シュミレーションではないかという…

宇宙の構造

【水源師】

ああそうですね。まあそういう事はですね。それも一つのアイデアで、実際は非常に強烈な想定外の宇宙構造になっています。

というのは、結局私たちはまだ火星にも到達していないし、それから金星もしっかり到達していないという事だけでも、実際はしているのですね。

NASA の宇宙船がどんどん火星に行ったり、金星に行ったり、それから Secret Space Program というのがアメリカにあります。そこにはもう何千兆円ものお金をつぎ込んでいます。

ですから、デルタ型の UF0 は全部アメリカのもので、それは宇宙人との契約によるものです。1954 年アイゼンハワー大統領が二千人のアメリカの最高の知識人と軍人を全て集めて契約したわけです。

その古文書は診ることが出来るはずですよ。今はもう公開されています。だからそういう風にね、私たちのこの太陽は 54 の太陽の一つの組み合わせになっています。だからキリスト教は 54 の数珠を使い、それからアンコールサム・カンボジア（アンコールワットは有名）は 54 の顔を出しています。あれはドラコ Draco の星座で作られているという研究者が言われて、そうだと思います。

という風に、その説はねプランバー・ジョーと言って、結局ブラックホールあるでしょブラックホール、あそこに物体を入れれば全部消えてしまうと。その中は時間が消えてしまうと。

という事は物理学的な法則に合わないわけですよ、全部崩れてしまう、そういう事だったら、この宇宙は発生しないし何も無いはずだけれども、無の世界になるけれども存在しているという事で。

じゃあ、プランバー・ジョーがね、入れた瞬間にその物体のイメージがこの宇宙のかなたに絶対に残っているはずだと。それでブラックホールの問題を解決したわけです（空即是色！）。じゃなければ全て中に入ってしまうから、全て

宇宙も出来ないわけです（色即是空！）。まあそういう事で。

アインシュタインの法則も実は間違っているわけですね。何故かと言えば私たちは、光以上の速さでは走れないと。

ところが、宇宙船はゼロポイントエネルギーで無量のエネルギーがあるわけです。ちょうどジェット機が空中飛ぶでしょう。そして、酸素入れて凄いエネルギーを出していくじゃないですか。

そういう風に、その絶対空間には凄いエネルギーがあるから、スピードを出せば出すほどそのエネルギーを吸収出来て、それで推進していくわけです。ちょうどジェット機の理論と一緒にそれを隠していたわけです。

だから、何故出来ないかといえば、ロケットを光の速さに近づければ、この宇宙全体のエネルギーが必要だから不可能と。昔音速以上の速さはできないと。

何故かといえば空気が固まってコンクリートみたいになるから分解すると。そういう事だったけれども、それを、音速を打ち破って、今は音速の 2.3、マッハ 2 とかマッハワンポイント 3 とかいっぱいあるでしょう。

だから、私たちは、そう言われれば、それを頭に詰め込むわけです。というのは実験も出来ないし、言われた通り。

そして、ロシアンボーイ、実際のロシアの少年がね、「実は私は火星で生まれた」と「その昔、火星で生まれて地球に今生まれてきた」と。それで「その時は大戦争があって、全部火星から地球に逃げてきた」と。

何故かと言えば、その小さい子が惑星の事とかを凄く細かく言うわけです、自分の過去のあれで。それで皆、びっくりして。アメリカの人とか、ビデオ撮ったり、私も聞きました。

というのは、私が言ったでしょ。死んですぐに再生するけれども、結局量子力学的のようになっているから、それでの時空とか時間帯は、私たちの時間帯で考える時間帯ではないわけです。その状態によってその人が生まれ時空が発生するから、本人はすぐに生まれるのだけれども。

量子力学的な構造になっているから、全く関係ない空間でも、そこに発生するわけです。だから私がこうスイッチを回すでしょ、そうしたら宇宙船も同じく回るわけですよ、そのプロトン（原子核粒子）が同じように、私達の考えとは全然関係ない。

そしてそれを quantum computer（量子コンピュータ）と言っています。それはもう中国で完成されて、それで世界が驚いて、だから、それには絶対にハッカーが入れない。それは軍事用で作って、そして今コンピューターテクノロジーのスピードでは中国が世界を制覇してしまった。それでアメリカが追随するかたちです。

というのは、13 億の民でね、天才的な人が沢山いるわけですよ。特に北京大

学というのは天才しか入れないような。それで 230 の研究所とか、それぞれの研究センターがあるわけです。分散して。だからステルス (stealth) ですね、ステルス (stealth) もすぐに完成して、ファイブゼネレーション、シックスゼネレーション今作って航空母艦も第二の航空母艦がもう演習しているし、そして第三、第四の航空母艦も上海で作り始めているし、凄いスピードなわけですよ。

本当の幸せ、涅槃に導いてくれるお釈迦様の教え

だから、私は昔から言ったでしょ、近隣諸国と仲良くしなさいと。だから私たちの考えているようなスケールではないわけです、一般の私たちは。私たちはちょうど牛、馬みたいな家畜みたいに飼いならされて死んでいくだけで。それで本当の幸せもみつからない。

幸せというのも作り上げたそのメディアで作り上げたのが本当だと。そこには全然幸せないですよ。というのは、そういう本当に億万長者と付き合っているから実際に。金とかもう宮殿みたいな所に住んでいますよ。

王様に会っても王様が涙をぼろぼろ流すし、自分の息子が側で死んで行くのに、どうにも出来ない、お医者さんが沢山いてもどうにも出来ない。だから権力、地位、金それで解決出来ない問題が一杯あります。

只、日々平安に幸せに暮らせるという事ほど幸せはないわけです。その中でこういう風に本当の法を求めていくという事は、想像を絶する幸せがこの中にあります。

ただそこを本当に確認するには、やはり一步一步近づいていかなければ、座って「はい、涅槃に達した」と、それは良いですよ、そういう風には過去無量のサムサラ因果関係で出来ないようになっています。

ただそれくらい強烈でも、それをぶち破って、そういう完全な仏界に行ける方法をお釈迦様は教えているわけです。凄い事なのですよ。

だから弘法大師様がその昔、インドの王様が過去無量の時に人肉を天に捧げてお祈りしたと。お釈迦様のお話にも、やはりそういう人肉を食べる話があります。ある時に宮殿で色んな妃がいるけれども、ひとりの妃が子供を産んだと。そして敵対する妃だから、もう非常なやきもちで自分が鬼女になってね、鬼女というのは鬼の女ですね、そういう風な神通になれば体を消してしまうわけですよ。それで第一の息子が生まれたらそれを食べる、第二の息子が生まれたらまたそれも食べる、第三も生まれて食べると、それで第四の時その部屋を囲んでもその鬼女が入ってきて、それを何とか連れ出して王様に人肉を食べさせるという話が、ジャータカ物語にあります。

だから、そういう過去に非常に悪い因縁を作った人でも、こういう法を持てば涅槃にいけるという方法を示しているわけなのです。まあとめどもなく。そしてなんと恐ろしい事や、アメリカでは年間五十万人の子供がいなくなるとか。

もっと、中近東の話をするれば身の毛がよだつような話が一杯あります。なぜか子供を狙うのですね。ウクライナ戦争で一万四千人の青少年をイスラエルに送ったけれども、その後、どこへ行ったか誰も分とという風な、その内容を見れば増々恐ろしいような話があります。

電磁波はどういう風に使われるか

月と地球の直径と半径を二つ合わせた距離は、人間の DNA と関係してきます。という風に私たちの頭では想像絶する過去無量の時間でこの身体ができているわけです。

それで心の作用も、そういう風に自分たちは何でもできると。ところがこういう風に電磁波で 1947 年よりやられているわけですね。こういう風に電波で全部。

自分だと思っているけれども、実は自分ではないわけです。このあれは渡してないはず、ページが多くなるけれども。ちょっと読んであげますね。時間ありますか？眠りますか？この電磁波はどういう風に使うと言えね、テンヘルツ 10herutu の電波をスーッと出せば、身体がちょっと動かないとか、ちょっと異常な行動をするわけですね。

それから 15 ヘルツをやればあれおかしいな～と耳が聞こえたり聞こえなくなったり変な現象起こすわけです。

25 ヘルツを発生した場合には、本当に見えるものが見えなくなってしまうたり、そういう事をやるわけです。

9 ヘルツをやった場合にはちょうど幽霊が触ったような感覚になる。

そして、25 ヘルツの時には自分がそう思わないのに強烈に性欲が発生してみたり、人を殺したくなってみたり、強烈に車を走らせてみたり、という風な事を起こさせるみたいで、それを事細かに大きく分析したレポート・ペーパーがここにあります。

これが、何故かヒュージョン・センターと言うアメリカから間違って出されたみたいでインターネットに。

それで、それをキャッチして発表されたので、私がすぐ消される情報なのでこれを印刷して、こうして皆さんにお知らせしているのは、世の中は私たちが考えているような全て綺麗事でやってはいませんよという事です。

AIはプログラミングだけで人間の力にはかなわない

過去無量の話もそうだし、現在も続いて、こういう状態だし。シークレット・スペース・プログラムはどんどん宇宙船を使って、地球圏内だけソーラーシステムないだけ。

私たちは外に出られないのです。まだそれだけの精神が進化してないから、私たちがこういう風なイルミナートみたいなのが、宇宙に出て行けば、宇宙が破壊されるから、それはストップされているみたいです。

まあそういう話が、もう嘘だと思えるのだけれども、南極の下にはナチスジャーマンが、ちゃんと第二次世界大戦が終わる前に 100 隻の潜水艦で、新しい帝国のために地下都市、日本の国土の二倍があるわけですね。年がら年中、何か 20 度の気温で巨大な空間があるみたいです。それもあるし、それに地質学者が、そこには過去の円盤とか一杯あると。

それでそこから掘り出して昔のテクノロジーとしてナチスジャーマンがそれを使って、今のアメリカは、結局、ナチスの残党が静かなるクーデターでアメリカ政権を取ってしまったと。

ソフトクーデターといって、だからアメリカ国民はどうにもならないわけですね。だからヒラリークリントンとかビルクリントンとかジョージブッシュとか、皆がもう分かっても何もできないでしょう。

一般の人が海兵隊とかそういう人が、ちょっと潜水艦の写真を撮れば 10 年の刑役とか。だから doublelaw（裏表法律）なのですね。

法律の上に人は無し、皆平等に裁かれると。ところが実際は二重法律で、全く関係なく何をしても良い人たちと一般庶民の現状は、もう怯えて暮らすという風な状態で、だからこのままいくとは思えない。というのは、西洋のアメリカの若者たちはもう分かっているからね、全部。そういうヨーロッパも。

それで何かが発生するはずで、このまますんなりとは行かないから、一生懸命 AI を使って artificial intelligence robot ね、とか機械化して人間を必要としない方向に行こうとするけれども、それにも非常に無理があります。

そうなれば人間というのは、色々素晴らしいものを作り上げる力、不思議なものがあるわけですね。だから機械は機械を作るだけでもそれから発展させる創造性というものはないから、それはプログラミングだけであ新しく創造性のもものは出来ません（真如：Tatha は、機械では解析できません）。

【司会者】

昨日の旅館の新聞に保育園で選考するのに AI を使っている。と見出しがありましたけれども。

【水源師】

それは知らないけれども。それは人間が作ったものであるから、その人間がプログラムしたプログラマーが完全なる聖者であれば良いけれども、そういう人もいないし、ただその時に思えば、その時のプログラムの AI を組み上げる。

それが結局 DDT が後で分かった時に大変な猛毒だと、だから AI をプログラマーが作っている時は、これが良いだろうと。まあそういう事で。

本当の幸せを見付けるには、本当の事を知る必要がある

この近くに何々軍曹という石碑があつてね。戦死した、その時は国民がわっしょい、わっしょい、と言って、戦う何とか、そういう事でお国のために死ぬというプログラミングで死んでいったでしょ。まあそれと一緒にです。

だから誰かが法律を作って、誰かがこれを運用すると。だから法律があつても、皆が読んでもそれを采配、さじを握るのはやはり人間だからね。プログラミングするのも又人間だから。だからコンピュータが聖者になるわけないし、そのコンピュータを不完全な無明の私たちが作るから絶対に良い事あるわけないです。

まあそういう事で。だから本当に幸せを見つけるのは、こういう風に本当の事を知る事によって、間違った考えが抜けていくから心も身体も爽やかになっていきます。

そして身体も病気にならないと。非常に簡単な事だけれども、一番したくないのがこういう瞑想なわけですね。だからまあ一年に一回こういう所に参加されてね、自分の座り方をちょっと体得して。ここには沢山の方が法を持たれていきますから、分からなければどんどん聞いて一つでも体得されてください。

結局、MARANĀSSATI METTĀNUSSATI BUDDHĀNUSSATI ASUBHĀNUSSATI とちゃんと皆さんにちょっと手ほどきしたから指導できる方がおりますので、それからスケルトン瞑想、32 分身法の六つの手法、簡単なのを教えて、その上ダンマヌパッサナーは難しいけれども、チッタヌパッサナー六祖大使の手法はもっと簡単にいけるから、それからベーダナヌパッサナー、カヤヌパッサナーの入り口として丹田呼吸ですね、それをやれば上手くいくはずです。

というのはこの大乘はヨガカラという学校で、ヨガというのは身体ですね、これはナーガールジュナ様が完成された手法でさっき言ったように、私たちの DNA はそう簡単なものじゃないという事を私が説明しているわけです。

結局月と地球の直径とその半径を足したサイズの引いたものがこの DNA の組み合わせに関係してくると、それから太陽と地球との円形あるでしょう？地球

の直径、円周と太陽の直径のナンバーが 432 というその音律とも関係してくると、太古の昔にそれがちゃんと分かっているのです。

だから、今、1100 年あたりのカソリックのお坊さんが、音楽を完成させたという事を言われているけれども、とうの昔にそれがあるという事。だから私たちは本当に空想の、実はそれこそバーチャルリアリティーで踊らされているだけなのです。そういう観点から見れば空想社会で生きているという事ですね。いいですか？もっと質問ありますか？

ナーマルーパを明快に分析して行けば心の作用が分かる

【参加者】

この前からすれば私たちは地面をはいずりまわっている虫みたいなものですか？

【水源師】

いや、虫にも心があります。

【参加者】

それはそうだと思います。

【水源師】

人間も心があります。人間だけが素晴らしい心を持っているかと、そうではないはずです。だからその昔アヌアキが結局自分たちは働きたくないから、新しい人種を作って働かせたと文献に有ります。

そのアヌアキの一人の、皆の選挙で誰が肉体を捧げて DNA とそれから人間の DNA を混ぜて作るかと。

その時に非常に興味のある言葉は、私たちのあれは試験管ベビーとか物理的でしょう？ところが、彼らはもうゴーストという名前を付けている、ゴースト＝心。

そのゴーストは絶対に入れてはいけないと。何故、入れてはいけないかといえ、神のそういう心が入れば、結局心の作用で新しくどんどん子供が作っていかないわけですよ。

ところが人間のそういう心とか、動物的な心はその身体に入った場合には、どんどんこの地球のゴーストだからどんどん発生するような仕組みになっているわけです。それがナーマ・ルーパを明快に解析していけば分かるけれども、現在はね、精神科と物理学科と全部別れているから何を私が言っているか明快

に分からないけれども、太古の経典にはその事がかかれてあるわけ、嘘も隠しもなく。オックスフォード、スメリアカルチャーの経典読めばそこに書いてあるから、全部読めます。良いですか？

【参加者】

はい

【水源師】

それで虫にも五分の魂といってね、ある時アラハトがね、涅槃に達すると。ところがそのアラハトが自分の衣に非常に執着して、涅槃に行くべきところがノミになったわけですよ。

だからお釈迦様が「この衣は焼かないように」と、「七日待ちなさい」と。ノミの生命は、大体七日だから、そしてこのアラハトがノミから死んで涅槃に達したわけですね。

だから私たちは心というのは、ノミであろうが、人間であろうが、ゾウさんであろうが、クジラであろうが、それはもう私たちの領域で何だかんだとは測れないのが心で。

だから般若心経で書いてあるように、大きくもなく小さくもなく、汚すことも出来なく、それから浄化することも出来なく、ちゃんと書いてあるわけです。

その通りの「空」という事が、結局、心に直結してくるわけなのだけれども。それは頭では無理、おかしくなる。だからまず座禅かそういう手法で体得して、そしてこのナーマ・ルーパをしっかりと観た時に、その現象が何か浮かび上がってきます。

それでも、この宇宙の創り方はとても深淵で理解が難しいと思います。というのは、この宇宙が発生する時間は長いでしょう。人間の生命体は百年でしょう、今。

それで宇宙人は四十万年か百万年長いでしょ。だから私たちはちょうど虫みたいなものかと。ところが、違います。何故かと言えば、結局、そういう風に宇宙が発生六万四千回しても一生命体は一生命体で長きに渡っても一生の体験だけです。

さっき言ったように、ノミも七日も一生命体、それが終わった時に涅槃に達する。という風に、時間というのは存在しないし、寿命が長いから良いというわけでもないし、寿命が百万年同じ事をやらせたら、もう地獄と一緒にでしょ。

それが良い事ばかりで楽しかったら良いけれども。ところがそういう宇宙人の情報を聞けば、グレイは死を恐れてもう一生懸命働いてね、その後はカマ

キリミたいなものがじっと見て、その後ろにはそれを監視する冷酷な人間がね、ロボット人間みたいのがジーっと見ていると。皆、恐れ、恐れ働いていると。

それで宇宙を飛び回っていると。じゃあ何のために生きているかと。私たちは花も見える、私たちは美味しいだんごも食べられる、私たちは山を登って苦しいけれど「ああ、良かった」とか、その中に一杯幸せを感じるものがあるわけですよ。

これは、不可思議な私たちの DNA が、過去二万仏、結局月光菩薩、日光菩薩、日月燈明仏、二万物と大乘に書かれて、南伝では、無いと言っているけれども。やはり二十八仏だけだと。

私の体験では恒河紗の如く、仏がおります。無いと教えられて、思えば観えないです。

ところが、そういう事を全く関係失くしたら、スーっと観えるわけです。それでマハーヤーナの経典の通りだと、そう書かれています。

南伝では涅槃とこの地上は全く関係なくなるから、仏になれば関係無いとそう説かれているけれども。いやあ違うわけですね、私の家が洪水になる前に宝勝仏が現れて、なぜ宝勝仏が現れたかと。そうしたら、その後、洪水になって、保険会社からどっさりお金が出てきて、そのお金で湖のクティがちゃんと完成したわけですね。

実際に行く、そしてその体験を通して本当の事が分かる

だから、そういう風な現象があるし、私もそういう風な法を体験しているものだから、その書かれている事が全て本当であるかどうかは検証しなければいけないわけです。

そういう事をお釈迦様が死ぬ時に第三の望みとして、そういう事を実際に検証して下さいと言っているわけで、そのまま鵜呑みにしないでください。

だから私の旅もこうして検証して行くお陰で、ただ座って本だけじゃないですよ。実際に行く、それから偉い先生を求めて地の果てまで駆け巡って探しに行くと。それでそういうご褒美で結局色んな良い事が当たって来るわけですね。

黙って先生か誰かが全て教えて、はい、教えて下さいと。そういう事はないです。何のために先生が来て教えますか？本当の事を知ろうと思うから結局天界が助けるわけですね。

私もなぜエクアドルの南米に行ったかと。パチャクティといえバインカの神なのですね南米では。特にペルーでは大神様という、それが私の部屋に来たわけですよ。それでエクアドル、エクアドルと言う。ああそうか。それでエクアドルに行ったわけです。それで、こういう事になっています。呼ばれたわけで

す。そういう事を言っても聞く耳も持たないし、ああ変なのが来たなそれで寝たら現れる事もないしね。

ちょうど、私みたいな馬鹿な人間はそのまま行くから出てくるわけですよ。それでそのお陰で色んなご褒美も又もらって、そして、そういう所に行くから世界 60 か国の人が集まっている所に行くから、色んな超極秘の日本の情報も教えてくれるわけです、アメリカの人が、実は、こうなのだよと。

ところがここに座ってインターネットするだけでは大変な無理があり、やはり現地に行って足を運んでそれで本当の事を教えて貰えるし、もし私がオーストラリアに行けば真っ先に原住民の人の所に行って、ちょっと暮らしてみたいですね。

暮らして一緒に行動する事によって、やはり言わなくても分かるからその秘密が。過去の四万、五万年前の。

というのは、バリ島あるでしょ、バリ島はね人間の過去の歴史が全部つまっているわけです。五万年からズーッと下がってくる毎に段々新しくなって、一番頂上の方はね人間が死ねばポーンと投げておくわけです。オーストラリアのアボリジニ人も死ねばポーンと投げる、一緒にの事なのです。それをする理由があるわけなのです。

それで、霊も知っているし、ドリームランドと言ってその人たちはその人たちの世界があるわけです。私たちは非常に馬鹿にするけれども、そうではないのです、その時空を持っているわけです、それは開放しない。ノースアメリカインディアンも又彼らの時空があって、白人には絶対見せなかったけれども、私をサンクチャー（聖域）に座らせて、そして特別なお祈りをしてくれるわけですね、なぜか。あっちのシャーマンが。

絶対に普通の人には観えない時空を見せてくれました。あ、なるほどと。だからそういう体験を通して世界の文明とか色んな繋がり、その究極のところが合ってくるわけですね。

やはり北方の人も来てくれ来てくれというのだけれども、やはり遠いしまあ最初行って、その後は南に降りて来てくれというくらいで、時間もちょっと疲れて。まあそういう事でどうですか？もっとありますか何か？良いですか？

何か今日も又話がそれたのか、発展したのか、沢山話が出てくるから、というのが私の現状です。これでもまあまあ十分の一くらいしか話してないけれども、もっと詳しく話したら、もう本当に腰を抜かすような話ばかりだから。

それは趣味とすれば良いのだけれどもね。法を持つ方がもっと大切だから、お伽話の話の方に入ってしまうから。まあ壮絶な宇宙ですよ、この宇宙は、私たちの考えるような、たかだか数千年の歴史という話ではないのです。

まあ良いでしょうか？良ければまた明日。はい回向。



ニンマジの寺院・カツマンズー・ネパール

(この奥の洞窟にチベット仏教の最高の瞑想される九十歳過ぎたラマ僧がいて、ダライラマ様にも会わないそうです、ただ一人の弟子だけがお会い出来る様です。)

水源禪師法話集 89

(2018 年 5 月 3 日 山梨合宿 7 日目)

2019 年 3 月 9 日発行

編集兼発行 一乗禅の会